

学会発表

(*は財団研究員；**は客員研究員)

日本老年社会科学会第66回大会(2024/6/1-2:奈良)

①上原桃美*, 中村正人**「高齢者福祉施設職員の防災意識とワークエンゲイジメントとの関連: 都内特別養護老人ホームを対象とした調査から」

【発表要旨】高齢者福祉施設協議会(東社協)会員施設の職員596名を対象に分析した。ワークエンゲイジメントが高い職員ほど、防災意識も高かった。施設職員の防災意識向上には、ワークエンゲイジメントに着目した取り組みも有用である。

②上原桃美*.ECR企画「老年社会科学における実装研究のポイント・コツ—Evidence-based policyの実現に向けて—」にて話題提供者として登壇

第66回日本老年医学会学術集会(2024/6/13-15:愛知)

土屋瑠見子*, 光武誠吾, 北村智美, 田口怜奈, 服部真治, 浜田将太「介護保険制度における住宅改修サービスの利用と介護施設入所との関連—後ろ向きコホート研究—」

【発表要旨】住宅改修の利用と介護保険施設入所との関連について、医療・介護レセプト等を用い検討した。住宅改修実施者のうち上限額(20万円)利用者では施設入所の発生率が低いことから、施設入所の予防に寄与する可能性が示唆された。

日本ケアマネジメント学会第23回研究大会(2024/6/22-23:神奈川)

佐々木晶世*, 石橋智昭*「介護老人福祉施設におけるADLに関する介護の質指標(QI)の活用—インターライ方式によるアセスメントデータより—」

【発表要旨】過去1年間のデータより、ADLに関するQIは、改善や悪化を初期・中期・後期に分類して評価しており、各施設の特徴を把握することができたため、ケアの見直しに活用しやすいことが示された。

論文発表

(*は財団研究員；**は客員研究員)

①安順姫*, 新野直明**, 芳賀博**「要支援・軽度要介護高齢者を対象とした「ハッピープログラム」の実践:

参与観察と効果評価からの検討」応用老年学, 18(1), 136-144, 2024.

②安順姫*, 佐々木晶世*「労働者のwell-being向上に関する介入研究の動向と課題—国内文献レビュー—」日健医誌, 33(2), 279-288, 2024.

③Taguchi R, Michihata N, Tsuchiya-Ito R*, Kitamura S, Ishikawa T, Iwagami M, Hamada S. Characteristics to consider for home pharmaceutical care in older adults who initiate visiting pharmacist services in Japan. *Geriatrics & Gerontology International*, <https://doi.org/10.1111/ggi.14957>.

④Tsuchiya-Ito R*, Slaug B, Sano T, Tajima M, Itoh S, Uda K, Yamanaka T, Iwarsson S. Assessing housing accessibility issues for older adults in Japan: An expert panel approach to cross-cultural adaptation and content validity of the Japanese Housing Enabler, *Journal of Housing and the Built Environment*. 2024. <https://doi.org/10.1007/s10901-024-10145-2>

⑤Itoh S, Mori T, Jin X, Ito T, Komiyama J, Kuroda N, Uda K, Tsuchiya-Ito R*, Wu XV, Kodama K, Takahashi H, Takeda T, Tamiya N. Outcomes of advanced care management in home-based long-term care: A retrospective population-based observational study. *International Journal of Nursing Studies*. 2024; 158: 104862. doi: 10.1016/j.ijnurstu.2024.104862.

講演など

石橋智昭:

①群馬県シルバー人材センター連合会主催 令和6年度役員研修会において「～シルバー事業に役立つ“老年学”のすすめ～」を講演(9/6、於:群馬県社会福祉総合センター)

②公益財団法人東京しごと財団主催 令和6年度シルバー人材センター安全大会において「事故防止対策の“見える化”と効果検証への取り組み②」を講演(9/27、於:

◆ Dia Information ◆

東京しごとセンター)

佐々木晶世：

- ①和洋女子大学看護学部3年「保健医療福祉行政論」の講義を担当(6/5)
- ②千葉県立野田看護専門学校1年「地域コミュニティ演習」の講義を担当(7/1、8/26、8/30、計3回)

寄稿・取材記事ほか

石橋智昭：

「月刊シルバー人材センター」(株労務行政)：「健康増進・介護予防へのセンターの貢献(2024年8月号、p28-31)」、「地域包括ケアへのセンターの貢献(2024年9月号、p28-31)」

佐々木晶世：

「看護展望」(株メヂカルフレンド社)：「特集/地域包括ケア時代に求められる病棟のつくり方 Part1地域包括ケア時代において看護職に必要な知識9. 地域包括ケアシステム

における災害対策」(2024年7月臨時増刊号(24巻9号)、p64-68)

森義博：

(株セールス手帖社保険FPS研究所「LA情報」：「あの数字とその後—実態、モデル、意識調査(6月)、公的年金をめぐる数字(7月)、公的年金の年金額(8月)、出生数・出生率(9月)」

「50代・60代の働き方に関する調査」(2018年2月実施)：「役職定年による年取の変化」に関する調査結果が、8/16放送のフジテレビ「めざまし8」で紹介された。

その他

【Diaレポート】

当財団の2023年度の研究・活動実績、組織、財務の状況等をご報告する「Diaレポート2023」を7月に発行し、財団ホームページにも公開しました。

2024年度財団シンポジウム開催のお知らせ

ダイヤ財団では、一般財団法人オレンジクロスとの共催で、2024年11月14日に2024年度財団シンポジウム「ストップ介護離職5—サポートを100%活かす—」を開催いたします。

参加費は会場参加・オンライン視聴とも無料です。参加ご希望の方は、ダイヤ財団ホームページ(<https://dia.or.jp>)よりお申し込みいただけます。

皆さまのご参加をお待ちしております。

[2024年度財団シンポジウムの概要]

- ・テーマ：「ストップ介護離職5—サポートを100%活かす—」
- ・日時：2024年11月14日(木) 14:00～16:30
- ・会場：ビジョンセンター東京 京橋
(東京メトロ銀座線 京橋駅直結)
- ・開催形態：会場とオンライン(オンデマンド配信)
(会場参加は先着100名様。オンライン視聴は録画映像を12月2日から2025年3月末までオンデマンド配信予定)

・内容および登壇者：

【第1部】基調講演

和氣美枝 氏(一般社団法人介護離職防止対策促進機構 代表理事)

【第2部】「仕事と介護の両立」に関するダイヤ財団の調査結果報告

安順姫(ダイヤ財団研究部博士研究員)

【第3部】パネルディスカッション「ストップ介護離職5」

<パネリスト>

- ① 和氣美枝 氏
- ② 沼田裕樹 氏(町田市ケアマネジャー連絡会相談役/日本社会事業大学講師)
- ③ 桑山裕衣 氏(明治安田生命保険(相) 人事部人財開発・ダイバーシティ推進室長)
- ④ 藤井敏美 氏(ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株) 管理本部人事総務担当)

<コーディネーター>

佐々木晶世(ダイヤ財団研究部主任研究員)